



# 2012

## PTNA PIANO COMPETITION

第36回ピティナ・ピアノコンペティション

ソロ部門

# 特級・G級・Jr.G級

# 参加要項

ワンステップへのピアノリポートへ  
**PTNA** 社団法人全日本ピアノ指導者協会 (略称ピティナ)

会場協力：第一生命ホール、エプタザール、仙川アヴェニューホール、洗足学園音楽大学、東邦音楽大学

## 変更点 1

### 特級ファイナル（協奏曲）課題曲に作品追加

下記 3 曲が追加されました。（詳細は「5. 課題曲」を参照）

ラフマニノフ：ピアノ協奏曲第 1 番 嬰へ短調 Op.1（改訂版）

バルトーク：ピアノ協奏曲第 2 番 Sz.95

バルトーク：ピアノ協奏曲第 3 番 Sz.119

## 変更点 2

### 特級・G 級 選曲規定の変更（詳細は「5. 課題曲」を参照）

#### 特級

従来	2012 年度
(1 次) 15～25 分 古典ソナタ 1 楽章以上 リスト等練習曲 その他	(1 次) 15～25 分 古典ソナタ 1 楽章以上 リスト等練習曲 その他
(2 次) 20～35 分 ショパン練習曲 1 次との重複不可	(2 次) 20～35 分 ショパン練習曲 1 次との重複不可
(セミ) 45～55 分 古典ソナタ 1 楽章以上 邦人新曲 演奏時間の半分以上は 重複不可	(セミ) 45～55 分 古典ソナタ 1 楽章以上 邦人新曲 <b>古典ソナタ以外は重複不可</b>
(決勝) 協奏曲	(決勝) 協奏曲

※ 1 次予選～セミファイナルを通じて 4 期を弾くこと

#### G 級

従来	2012 年度
(1 次) 10～15 分 ショパン練習曲含む	(1 次) 10～15 分 ショパン練習曲含む
(2 次) 15～20 分 2 スタイル以上 1 次との重複 OK	(2 次) 15～20 分 2 スタイル以上 <b>1 次との重複不可</b>
(決勝) 25～30 分 ショパン練習曲 1 次・2 次との 重複 OK	(決勝) 25～30 分 ショパン練習曲含む 1・2 次との重複 OK

※全ラウンドを通じ、4 期を弾くこと

## 変更点 3

### Jr.G 級の参加料改定

実音審査の実施、予選会場の変更にもない参加料が改定となりました。

## 第 36 回 ピティナ・ピアノコンペティション 特級・G・Jr.G 級

# 参加規定

社団法人全日本ピアノ指導者協会主催、ピティナ・ピアノコンペティション、およびピティナ・ピアノ演奏検定に参加申込をされた方は、以下の参加に関する規定に同意したものとみなします。

### 1. 指導者の登録と指導者賞

- (1) 地区予選・第一次予選→地区本選・第二次予選→全国決勝大会を通じて、1 組の参加申込（1 つの申込番号が与えられる申込）について、指導者の登録は 2 名までです。
- (2) 地区予選・第一次予選申込書に指導者名が記入されていない場合、または指定の期日および方法で指導者登録追加手続きをしなかった場合、指導者賞受賞者の対象とはなりません。
- (3) 指導者賞受賞の対象は個人の指導者のみで、音楽教室などの団体は受賞の対象にはなりません。
- (4) 当日、参加者が欠席した場合、指導者賞のポイントに換算いたしません。
- (5) 地区本選・第二次予選の参加数は、指導者賞のポイントに換算いたしません。

### 2. 演奏の著作権・録音など

- (1) ピティナ・ピアノコンペティションで行われる演奏についての録音・録画・撮影などの記録及び頒布・販売に関する全ての権利（著作権、肖像権も含む）は、主催者である社団法人全日本ピアノ指導者協会（ピティナ）に帰属するものとします。
- (2) 演奏の録音は、録音される人の了承を得ている場合、かつ、決められた場所で機材（電源含）を参加者ご自身が用意された場合のみ可能です。ただし、運営上の都合により、不可とさせて頂く場合もありますので、当日の係の指示に従って下さい。
- (3) 演奏のビデオ撮影は、撮影可能な地区であり、かつ、撮られる人の了承を得ている場合のみ可能です。当日は係の指示に従い、観

覧者の迷惑にならないよう心がけて下さい。ただし、混雑状況等により、撮影不可とさせて頂く場合があります。

### 3. 結果の公表と表彰、褒賞について

- (1) 審査結果（入賞者の氏名、写真、全国決勝大会採点結果等）は、「ピティナ・ピアノコンペティション結果特集号（10 月上旬発行）」および当協会ウェブサイトに掲載致します。また、結果が新聞等マスコミで発表される場合があります。
- (2) 予選において優秀賞以上の成績を獲得した参加者が、(1) の公表を希望しない場合、賞を剥奪することがあります。
- (3) 審査の結果、優秀な成績を収めた方は、他のコンクールへの推薦、各種ご案内（入賞者記念コンサートのご案内、公開レッスン等各種イベントのご案内など）の送付をさせていただくことができます。
- (4) 地区により、特別賞が与えられることがあります。
- (5) ソロ部門特級のグランプリ受賞者には、ピティナ本部主催褒賞コンサート（海外・国内）に出演していただきます。また受賞後 1 年間、当協会広報媒体に顔写真・演奏写真等を掲載し、ピティナ・ピアノコンペティションの広報目的に利用させていただきます。

※以上の文章は、参加規定のうちソロ部門特級・G・Jr.G 級に関する部分を抜粋したものです。全文は下記をご覧ください。

当協会ウェブサイトトップ⇒「コンクール」タブ⇒「概要」メニュー⇒「参加規程」  
<http://www.piano.or.jp/compe/about/regulations.html>

※当協会の個人情報の利用目的につきましては下記をご参照下さい。

社団法人 全日本ピアノ指導者協会 個人情報保護方針  
<http://www.piano.or.jp/info/homepage/privacy.html>

※未定情報を含めたすべての決定：変更内容は、2012 年 3 月 1 日以降随時、当協会ウェブサイトにて発表いたしますので、必ずご確認ください。

<http://www.piano.or.jp/compe/>

# 1 参加資格

- ◆特級 年齢制限なし
- ◆G級 26歳以下（1985.4.2以降に出生した方）
- ◆Jr.G級 高1以下、または15歳以下（1996.4.2以降に出生した方）  
ピティナ・ピアノコンペティションC級以上で地区本選優秀賞以上を受賞、またはこれに準ずる経歴のある方（全国決勝大会定員15名程度）

## 特級予備審査

特級において下記の資格を一つも満たさない方は、第一次予選前に**予備審査（実音審査）**を行います。「4.開催日程」を確認の上、お申込みください。

※下記のうち一つでも資格を満たしていれば第一次予選からの受験となります。

- ◎音楽大学ピアノ科・音楽高校ピアノ科（またはそれに準じる）在学・卒業
- ◎ピティナ・ピアノコンペティションをはじめとする、中学生以上を対象とする全国規模のコンクールで第一次予選通過以上の経歴がある方

※ピティナ・ピアノコンペティション ソロ部門D級以上、またはグランミュージズ部門A1カテゴリーの地区予選通過者を有資格者とみなします。

※ピティナ・ピアノコンペティション以外の、社会人・愛好者を対象とするコンクールについては、有資格者とみなされません。

## 【予備審査課題曲】

(1) ハイドン、W.A.モーツァルト、ベートーヴェンのピアノソナタから、1つ以上の楽章（繰り返しは任意）

(2) ショパンのエチュード作品10または作品25から任意の1曲

※(1)(2)いずれも、第一次予選・セミファイナルで演奏する楽曲との重複可。

※(1)(2)の演奏曲順は任意。

※予備審査において、採点票の交付はありません。

# 2 審査方法

- ◆審査は公開の場で行ないます。但し見学希望者多数の場合は入場制限を行なうことがあります。
- ◆採点票（予選）は当日参加者全員に交付されます。
- ◆演奏順番は全ての選抜段階において、コンピュータによって無作為に振った結果で決定しています。
- ◆審査員は当日発表されます。全国決勝大会においては海外招聘審査員4名を予定。

## 全国決勝大会 海外招聘審査員



マーティン・ヒューズ  
(イギリス)  
ウィーン国立音楽大学  
ピアノ科主任教授



アンドレア・ボナッタ  
(イタリア)  
ホルツァーノ音楽院教授  
エッパン国際ピアノアカデミー  
芸術監督



リ・ミンチャン  
(中国)  
元・上海音楽院副学長  
ピアノ科教授

ほか1名予定

# 3 褒賞

賞名	人数	褒賞内容
特級	グランプリ	総額 1,000,000 円 ◇文部科学大臣賞 ◇読売新聞社賞 ◇王子ホール賞 ◇東京シティ・フィル賞
	銀賞	総額 400,000 円 ◇王子ホール賞
	銅賞	総額 200,000 円
	聴衆賞	ファイナルの最多得票者、 ファイナル入場料収入の半額を授与
G級	金賞	総額 400,000 円 ◇東京都知事賞 ◇読売新聞社賞 ◇ヒノキ賞 ◇洗足学園前田賞 ◇王子ホール賞
	銀賞	総額 200,000 円 ◇洗足学園前田賞 ◇王子ホール賞
	銅賞	総額 100,000 円 ◇洗足学園前田賞
	ベスト5賞	2名

▲2010～2011年度実績

賞名	人数	褒賞内容
Jr.G級	金賞	1名 総額 250,000 円 ◇読売新聞社賞
	銀賞	1名 総額 150,000 円
	銅賞	1名 総額 80,000 円
	ベスト8賞	5名

## 過去のグランプリ

2011年(第35回) 阪田 知樹 2006年(第30回) 前山 仁美  
2010年(第34回) 梅村 知世 2005年(第29回) 金子 一朗  
2009年(第33回) 仲田 みずほ 2004年(第28回) 後藤 正孝  
2008年(第32回) 佐藤 圭奈 2003年(第27回) 関本 昌平  
2007年(第31回) 尾崎 有飛 2002年(第26回) 田村 響

※第1回～第25回については当協会ウェブサイトをご参照下さい。  
<http://www.piano.or.jp/compe/>

※2012年度の褒賞は、決定次第、当協会ウェブサイトにて発表予定。<http://www.piano.or.jp/compe/>

# 4 開催日程

※G級・特級第一次予選は2地区まで併願が可能です。  
 (詳細は当協会ウェブサイトをご覧ください。http://www.piano.or.jp/compe/about/regulations.html)  
 ※ソロ部門の他級およびグランミュージック部門 Y カテゴリーとの併願はできません。

第一次予選の Web 申込のエントリーは、最大で申込締切日 2 日後の水曜日 15:00 まで可能です。(定員になり次第、その日を待たずに締め切ります。)  
 第二次予選の Web 申込のエントリーは、申込締切日まで。

特級					
地区名	地区番号	開催日程	会場	申込締切日 (必着)	
(予備審査)	——	5月19日(土) ※該当者のみ	東音ホール	4月30日(月)	
第一次予選					
特級一次1	2911	6月23日(土)、24日(日)	仙川アヴェニューホール(調布)	5月21日(月)	
特級一次2	2912	6月30日(土)、7月1日(日)	仙川アヴェニューホール(調布)	5月28日(月)	
特級一次3	2913	7月12日(木)、13日(金)	仙川アヴェニューホール(調布)	6月4日(月)	
第二次予選					
特級二次	7911	8月2日(木)、3日(金)	かつしかシンフォニーヒルズ アイリスホール(青砥)	7月20日(金)	
セミファイナル					
——	——	8月18日(土)	第一生命ホール	8月7日(火)	
ファイナル					
指揮者合わせ		8月19日(日)	※非公開(都内) 詳細はファイナル進出者へご案内します		
リハーサル		8月20日(月)	※非公開(都内) 詳細はファイナル進出者へご案内します		
審査		8月21日(火)	第一生命ホール		

G級					
地区名	地区番号	開催日程	会場	申込締切日 (必着)	該当本選
第一次予選					
G級一次1	2901	6月2日(土)、3日(日)	東邦音楽大学 第一講堂(新大塚)	4月30日(月)	G級二次1
G級一次2	2902	6月9日(土)、10日(日)	東邦音楽大学 第一講堂(新大塚)	5月7日(月)	G級二次2
G級一次3	2903	6月16日(土)、17日(日)	東邦音楽大学 第一講堂(新大塚)	5月14日(月)	G級二次1
G級一次4	2904	7月7日(土)、8日(日)	東邦音楽大学 第一講堂(新大塚)	6月4日(月)	G級二次1
G級一次5	2905	7月14日(土)、15日(日)	東邦音楽大学 第一講堂/(50周年記念ホール) ※定員を超過した場合は50周年記念ホールで、同日2会場開催となります。	6月11日(月)	G級二次2
第二次予選					
G級二次1	7901	7月28日(土)、29日(日)	エプタ・ザール(ハウスエプタ内)(狛江)	7月16日(月)	——
G級二次2	7904	8月6日(月)、7日(火)	大泉学園ゆめりあホール	7月23日(月)	——
全国決勝大会					
——	——	8月20日(月)	第一生命ホール	8月10日(金)	——

Jr.G級		
(書類メ切)	2月15日(水) 必着 ※応募多数の場合、書類選考することがあります。3月1日頃に応募者全員に結果を通知します。	
予選	4月14日(土)	洗足学園音楽大学 講堂(川崎・溝ノ口)
決勝	8月19日(日)	第一生命ホール

※2012年6月16~17日「Jr.G級のためのマスタークラス」を開催予定。詳細は予選参加者にご案内します。

# 5 課題曲

特級	第一次予選・第二次予選・セミファイナルを通じて、(b) (c) (e) の指定課題以外で、必ずバロック・クラシック・ロマン・近現代のスタイルの作品をどこかで演奏するようにプログラムを組むこと。但し、クラシックは (a) (d) を演奏すれば認められる。													
	<b>第一次予選</b> 15分以上25分以内のプログラム。以下の (a) (b) を必ず含むこと。 (a) (b) 以外の作品を各自の選択により加えてもかまわない。 (a) ハイドン、W.A. モーツァルト、ベートーヴェンのピアノソナタから、1つ以上の楽章（繰り返しは任意） (b) リスト、ドビュッシー、スクリャーピン、ラフマニノフ、バルトーク、ストラヴィンスキー、シマノフスキ、プロコフィエフ、リグティのエチュードから任意の一曲													
	<b>第二次予選</b> 20分以上35分以内のプログラム。以下の (c) を必ず含むこと。 第一次予選との重複は認めない。 (c) ショパンのエチュード作品 10 または作品 25 から任意の一曲													
	<b>セミファイナル</b> 45分以上55分以内のプログラム。以下の (d) (e) を必ず含むこと。 (d) 以外での第一次・第二次予選との重複は認めない。 (d) ハイドン、W.A. モーツァルト、ベートーヴェンのソナタから、1つ以上の楽章（第一次予選の (a) との重複は可） (e) 邦人新曲課題：以下の2曲より1曲を選択すること。この課題に限り視奏可 飯嶋絢子「水」（演奏時間：3分半程度） 篠崎めぐみ「Rolling」（演奏時間：3分半程度） ※楽譜は2012年3月1日以降、カワイ出版より発売される。 ※セミファイナル以前に (e) の課題を公開演奏することを禁ずる。													
<b>ファイナル</b> 下記のピアノ協奏曲より任意の1曲。オーケストラ伴奏により審査する。（管弦楽伴奏：岩村力指揮、東京フィルハーモニー交響楽団） <table border="0" style="width: 100%;"> <tr> <td style="vertical-align: top;"> <b>■ W.A. モーツァルト</b>                      ピアノ協奏曲 第20番 二短調 K.466                      ピアノ協奏曲 第21番 八長調 K.467                      ピアノ協奏曲 第23番 イ長調 K.488                      ピアノ協奏曲 第24番 八短調 K.491                      ピアノ協奏曲 第25番 八長調 K.503                      ピアノ協奏曲 第26番 二長調 K.537                      ピアノ協奏曲 第27番 変ロ長調 K.595                 </td> <td style="vertical-align: top;"> <b>■ サン・サーンス</b>                      ピアノ協奏曲 第2番 短調 Op.22                      ピアノ協奏曲 第4番 八短調 Op.44                      ピアノ協奏曲 第5番 へ長調 Op.103                 </td> </tr> <tr> <td style="vertical-align: top;"> <b>■ グリーグ</b>                      ピアノ協奏曲 イ短調 Op.16                 </td> <td style="vertical-align: top;"> <b>■ チャイコフスキー</b>                      ピアノ協奏曲 第1番 変ロ短調 Op.23                 </td> </tr> <tr> <td style="vertical-align: top;"> <b>■ ベートーヴェン</b>                      ピアノ協奏曲 第1番 八長調 Op.15                      ピアノ協奏曲 第2番 変ロ長調 Op.19                      ピアノ協奏曲 第3番 八短調 Op.37                      ピアノ協奏曲 第4番 変ロ長調 Op.58                      ピアノ協奏曲 第5番 変ホ長調 Op.73                 </td> <td style="vertical-align: top;"> <b>■ ラフマニノフ</b>                      ピアノ協奏曲 第1番 変へ短調 Op.1 (改訂版)                      ピアノ協奏曲 第2番 八短調 Op.18                      バガニョーニの主題による狂詩曲 Op.43                 </td> </tr> <tr> <td style="vertical-align: top;"> <b>■ メンデルスゾーン</b>                      ピアノ協奏曲 第1番 短調 Op.25                 </td> <td style="vertical-align: top;"> <b>■ ラヴェル</b>                      ピアノ協奏曲  <b>■ バルトーク</b>                      ピアノ協奏曲 第2番 Sz.95                      ピアノ協奏曲 第3番 Sz.119                 </td> </tr> <tr> <td style="vertical-align: top;"> <b>■ シューマン</b>                      ピアノ協奏曲 イ短調 Op.54                 </td> <td style="vertical-align: top;"> <b>■ プロコフィエフ</b>                      ピアノ協奏曲 第2番 短調 Op.16                      ピアノ協奏曲 第3番 八長調 Op.26                 </td> </tr> <tr> <td style="vertical-align: top;"> <b>■ ショパン</b>                      ピアノ協奏曲 第1番 変ホ短調 Op.11                      ピアノ協奏曲 第2番 へ長調 Op.21                 </td> <td></td> </tr> <tr> <td style="vertical-align: top;"> <b>■ リスト</b>                      ピアノ協奏曲 第1番 変ホ長調                      ピアノ協奏曲 第2番 イ長調                 </td> <td></td> </tr> </table>	<b>■ W.A. モーツァルト</b> ピアノ協奏曲 第20番 二短調 K.466 ピアノ協奏曲 第21番 八長調 K.467 ピアノ協奏曲 第23番 イ長調 K.488 ピアノ協奏曲 第24番 八短調 K.491 ピアノ協奏曲 第25番 八長調 K.503 ピアノ協奏曲 第26番 二長調 K.537 ピアノ協奏曲 第27番 変ロ長調 K.595	<b>■ サン・サーンス</b> ピアノ協奏曲 第2番 短調 Op.22 ピアノ協奏曲 第4番 八短調 Op.44 ピアノ協奏曲 第5番 へ長調 Op.103	<b>■ グリーグ</b> ピアノ協奏曲 イ短調 Op.16	<b>■ チャイコフスキー</b> ピアノ協奏曲 第1番 変ロ短調 Op.23	<b>■ ベートーヴェン</b> ピアノ協奏曲 第1番 八長調 Op.15 ピアノ協奏曲 第2番 変ロ長調 Op.19 ピアノ協奏曲 第3番 八短調 Op.37 ピアノ協奏曲 第4番 変ロ長調 Op.58 ピアノ協奏曲 第5番 変ホ長調 Op.73	<b>■ ラフマニノフ</b> ピアノ協奏曲 第1番 変へ短調 Op.1 (改訂版) ピアノ協奏曲 第2番 八短調 Op.18 バガニョーニの主題による狂詩曲 Op.43	<b>■ メンデルスゾーン</b> ピアノ協奏曲 第1番 短調 Op.25	<b>■ ラヴェル</b> ピアノ協奏曲 <b>■ バルトーク</b> ピアノ協奏曲 第2番 Sz.95 ピアノ協奏曲 第3番 Sz.119	<b>■ シューマン</b> ピアノ協奏曲 イ短調 Op.54	<b>■ プロコフィエフ</b> ピアノ協奏曲 第2番 短調 Op.16 ピアノ協奏曲 第3番 八長調 Op.26	<b>■ ショパン</b> ピアノ協奏曲 第1番 変ホ短調 Op.11 ピアノ協奏曲 第2番 へ長調 Op.21		<b>■ リスト</b> ピアノ協奏曲 第1番 変ホ長調 ピアノ協奏曲 第2番 イ長調	
<b>■ W.A. モーツァルト</b> ピアノ協奏曲 第20番 二短調 K.466 ピアノ協奏曲 第21番 八長調 K.467 ピアノ協奏曲 第23番 イ長調 K.488 ピアノ協奏曲 第24番 八短調 K.491 ピアノ協奏曲 第25番 八長調 K.503 ピアノ協奏曲 第26番 二長調 K.537 ピアノ協奏曲 第27番 変ロ長調 K.595	<b>■ サン・サーンス</b> ピアノ協奏曲 第2番 短調 Op.22 ピアノ協奏曲 第4番 八短調 Op.44 ピアノ協奏曲 第5番 へ長調 Op.103													
<b>■ グリーグ</b> ピアノ協奏曲 イ短調 Op.16	<b>■ チャイコフスキー</b> ピアノ協奏曲 第1番 変ロ短調 Op.23													
<b>■ ベートーヴェン</b> ピアノ協奏曲 第1番 八長調 Op.15 ピアノ協奏曲 第2番 変ロ長調 Op.19 ピアノ協奏曲 第3番 八短調 Op.37 ピアノ協奏曲 第4番 変ロ長調 Op.58 ピアノ協奏曲 第5番 変ホ長調 Op.73	<b>■ ラフマニノフ</b> ピアノ協奏曲 第1番 変へ短調 Op.1 (改訂版) ピアノ協奏曲 第2番 八短調 Op.18 バガニョーニの主題による狂詩曲 Op.43													
<b>■ メンデルスゾーン</b> ピアノ協奏曲 第1番 短調 Op.25	<b>■ ラヴェル</b> ピアノ協奏曲 <b>■ バルトーク</b> ピアノ協奏曲 第2番 Sz.95 ピアノ協奏曲 第3番 Sz.119													
<b>■ シューマン</b> ピアノ協奏曲 イ短調 Op.54	<b>■ プロコフィエフ</b> ピアノ協奏曲 第2番 短調 Op.16 ピアノ協奏曲 第3番 八長調 Op.26													
<b>■ ショパン</b> ピアノ協奏曲 第1番 変ホ短調 Op.11 ピアノ協奏曲 第2番 へ長調 Op.21														
<b>■ リスト</b> ピアノ協奏曲 第1番 変ホ長調 ピアノ協奏曲 第2番 イ長調														

G級	第一次予選・第二次予選・全国決勝大会を通じて、(a) (b) の指定課題以外で、必ずバロック・クラシック・ロマン・近現代のスタイルの作品をどこかで演奏するようにプログラムを組むこと。
	<b>第一次予選</b> 10分以上15分以内のプログラム。以下の (a) を必ず含むこと。1つのスタイルから数曲を選ぶ場合は、同一の作曲家の作品とする。組曲、ソナタ等からの抜粋可。 (a) ショパンのエチュード作品 10 または作品 25 から任意の一曲
	<b>第二次予選</b> 15分以上20分以内のプログラム。第一次予選との重複は認めない。異なる2つ以上のスタイルを必ず含むこと（1つのスタイルから数曲を選ぶ場合は、同一の作曲家の作品とする。）組曲、ソナタ等からの抜粋可。
	<b>全国決勝大会</b> 25分以上35分以内のプログラム。以下の (b) を必ず含むこと。第一次・第二次予選との重複は可能。異なる2つ以上のスタイルを必ず含むこと（1つのスタイルから数曲を選ぶ場合、複数の作曲家の作品を選ぶことも可） (b) 第一次予選で演奏したものと同一のショパンのエチュード
Jr.G級	<b>予選</b> 下記 (a) (b) の課題を演奏すること。演奏順序は自由とする。運営の都合上、演奏を途中でカットすることがある。 (a) ハイドンの以下の作品より1曲選択（繰り返しは省略すること） ソナタ イ長調 Hob.XVI/26 第1楽章 ソナタ 二長調 Hob.XVI/33 第1楽章 ソナタ 変イ長調 Hob.XVI/43 第1楽章 (b) ショパンのエチュード 作品 10/ 作品 25/3 つの新練習曲より1曲選択
	<b>全国決勝大会</b> 任意の2曲以上で構成する、15分以上20分以内のプログラム。但し、以下の条件を満たすものとする。 (1) 必ず7分以上の作品を1つ以上含む (2) バロック・クラシック・ロマン・近現代のうち、異なる2つ以上のスタイルを含む (3) 組曲・ソナタ等からの楽章・楽章抜粋は可、変奏曲の抜粋は不可 (4) ソロ部門他の級の課題曲として指定されている作品も選択可



岩村 力 (指揮)



東京フィルハーモニー交響楽団

## 演奏時の共通注意事項（全級）※必ずお読みください

- 制限時間のあるソロのステージにおいて、演奏時間の著しい過不足は失格または減点の対象となる。演奏時間は最初の曲の音が出た時点から通測し、最後の曲の最後の音までとする。演奏時間が指定の範囲内に収まるように十分に注意して選曲すること。
- スタイルの区分や繰り返しの有無等の音楽的判断は参加者によるものとするが、判断は採点の対象となり得る。但し、Jr.G級予選課題 (a) は、繰り返しを省略する。
- プログラムの演奏順序は自由とする。参加票に印字された順序で弾く必要はない。
- 特級・G級の第一次予選および Jr.G級の予選は、運営の都合上、演奏を途中でカットすることがある。カットは採点に影響しない。第二次予選～全国決勝大会は、原則として演奏を途中でカットすることはない。
- 演奏はすべて暗譜で行う。但し、特級セミファイナルの邦人曲については、視奏可とする。
- 現在または過去に出版された作品のみを選択の対象とする。楽譜が存在しない作品、即興演奏、プリペアドピアノ演奏、ピアノ以外の楽器混在、弦や楽器本体など鍵盤以外に接触することによって発音させる、いわゆる現代奏法の類を含む作品は、選択不可とする。
- 審査員より楽譜閲覧の希望があれば即刻対応するため、各選抜段階では、演奏曲目の楽譜を必ず持参すること。なお、特級・G級の審査の際、第一次予選～全国決勝大会のすべての段階の提出曲目は、審査の参考資料となる。

# 6 申込方法 (郵送)

※全地区インターネットによる申込も可能です。当協会ウェブサイトをご覧ください。  
http://www.piano.or.jp/compe/ 申込受付期間：2012/4/1～各地区の締切日

## 1. 参加申込書を書く

### ①参加級にチェック

- 該当する級にマークしてください。

### ②参加地区の記入

- 「予選地区名」「地区番号」を記入してください。

### ③参加者情報の記入

- 「氏名」「フリガナ」「参加者ID(※1)」を記入してください。
- 「性別」にマークし、「生年月日(西暦)」「年齢(2012年4月1日時点)(※2)」「住所」「電話番号」「FAX番号」「E-mail」「ピティナ・メールニュース配信希望」を記入してください。

※1) 過去にピティナ・ピアノコンペティション(演奏検定)及び、ピティナ・ピアノステップに参加された方にはIDがあります。初参加の方、不明な方は空欄で結構です。

※2) 年齢、学年などの記入に偽りがあることが判明した場合、その後の入賞を取消、賞状・副賞等の返還を求めることがあります。

### ④指導者の記入

- ピアノ指導者の「ID番号」「氏名」「フリガナ」「住所」「電話番号」をご記入ください。

※指導者欄に指導者の名前が記入されていない場合には、指導者割引の対象にはなりません。また指導者欄に記入された先生は指導者賞の対象となります。指導者IDが不明の場合は空欄で結構です。

※指導者欄に参加者ご本人の名前を記入することはできません。

### ⑤参加料の記入

- 該当する料金区分(一般/指導者割引/会員割引)にマークし、参加料金を記入してください。
- 指導者割引・会員割引でお申込の場合には、会員名・会員IDをご記入ください。

### ⑥特級参加資格チェック

- 特級に参加の方は該当する項目をマークしてください。
- ※申込書左側2つの資格のいずれにも該当しない方は、右側の○をマークし、5月19日(日)(東音ホール/東京)実施の予備審査を必ず受験ください。

### ⑦課題曲の記入

- 「スタイル名」「作曲者名」「課題曲名」「演奏時間」を記入し、それぞれどの段階で演奏するのかマークしてください。
- ※Jr.G級は予選演奏曲のみ記入してください。
- ※申込書に記入した曲目と、当日演奏曲が異なった場合、失格となります。
- ※楽章を抜粋して演奏する場合は、楽章ももれなく記入してください。楽章の記入もれは、曲目違いとみなされ、失格となりますので十分ご注意ください。
- ※演奏時間は目安で結構ですので、1曲ごとに必ずご記入ください。

## 2. 参加料を振込む

- 参加申込書に記入した金額を確認し、郵便局指定の振込用紙にて、下記口座まで正しくお振込みください。(銀行振込、現金書留、郵便為替などは不可。払込受領書はコピーをとり、原本を参加申込書表面下の所定欄に必ず貼付してください。)
- 申込書⑥の左側チェック項目に該当する方は第一次予選のみの参加料、右側チェック項目に該当する方は予備審査料(¥2,000)のみお支払ください。

振込先：00100-5-712078  
加入者名：ピティナコンクール事業部

※一度お支払いになった参加料は原則として返金できません。

## 3. 申込書をコピー

- 参加申込書は必ず申込内容控えとしてコピーをとり、大切に保管してください。

## 4. ポストへ投函する

- 市販の封筒に「○○級参加申込書在中」と明記の上、下記住所までお送りください。

〒170-8458 東京都豊島区巣鴨 1-15-1  
(社) 全日本ピアノ指導者協会

※申込期間：2012年4月1日(日)～各地区の申込締切日。(Jr.G級を除く。)

※簡易書留で送付すると、郵便局で配達状況の確認が可能です。通常郵便で発送した場合、郵便事故等による紛失についての責任は負いかねます。

※申込書の到着確認は受け付けておりません。

## 5. 登録情報カードで申込み内容を確認する

- 各地区の申込締切日より約2週間以内に、内容確認のため、「登録情報カード」(ハガキ)が届きます。
- ※お手持ちの申込書コピーと登録内容が異なる場合、速やかに事務局までご連絡ください。(FAX・E-mailのみ)
- ※申込書の記述と異なる変更はできません。

## 申込内容の変更方法

A4の用紙に下記の要領で変更内容をご記入の上、本部まで郵送またはFAXにてお送りください。WEB申込の方は登録完了メール記載のURLより変更申請が可能です。

### 【地区変更】

既に申し込んだ地区と、変更希望先地区の早い方の申込締切日迄に変更申請書必着。変更先の地区名をご連絡ください。

### 【課題曲変更】

申込締切日迄に変更申請書必着。最終的に、各選抜段階において演奏する曲目を全てご連絡ください。

### 【登録指導者名変更】

2012年7月末日迄に変更申請必着。最終的に登録する指導者名を記入してください(2名まで登録可能)。

\*\*\*\*\*

変更内容は登録情報カードにてご確認ください。

## 第二次予選の申込方法

予選通過者に交付された第二次予選申込書に記入の上、事務局までお送り下さい。参加料は「7.参加料」を参照。振込方法は第一次予選と同様です。

# 7 参加料

### ◆参加料金表

特級	一般	指導者割引	会員割引
第一次予選	¥19,000	¥18,000	¥17,000
第二次予選	¥26,000	¥24,500	¥23,000
セミ/ファイナル	無料		
G級	一般	指導者割引	会員割引
第一次予選	¥17,000	¥16,000	¥15,000
第二次予選	¥24,000	¥22,500	¥21,000
全国決勝大会	無料		
Jr.G級	一般	指導者割引	会員割引
書類選考	無料		
予選	¥12,000	¥11,000	¥10,000
全国決勝大会	¥24,000	¥22,500	¥21,000

### ◆割引区分について

一般	参加者が下記の2つの割引に該当しない方
指導者割引	参加者のピアノ指導者が、ピティナ会員である場合
会員割引	本人またはそのご家族(2親等以内)が、ピティナ会員である場合

※「ピティナ会員」とは、本部登録会員(正会員、指導会員、学生会員、支持会員、演奏会員、研究会員、グランミュージス会員)のみを指し、IDをお持ちでも会員証がない場合には割引は適用されません。(入会ご希望の方は本部事務局：会員担当までお早めにご連絡下さい)

※グランミュージス会員は、本人が参加者の場合に限り、会員割引が適用されます。

# 2012 特級・G・Jr.G 級 参加申込書

事務局側記入欄				
申込番号				
<b>2012003</b>				

**この申込書は一部を機械で読み取るため、汚さず、丁寧に記入してください**  
 ●必ず黒のボールペンでご記入ください ●該当する項目の○を塗りつぶしてください ●マス目は左づめでご記入ください

①級	<input type="radio"/> 特級 <input type="radio"/> G 級 <input type="radio"/> Jr.G 級			②地区	地区名	地番	区号		
③参加者 <small>※ ID はご存知の方のみ</small>	※参加者 ID			性別	<input type="radio"/> 男 <input type="radio"/> 女		年齢	歳	
	フリガナ							※ 2012/4/1 時点	
	氏名				生年月日	西暦	年	月	日
	住所 (書類送付先)	〒			ビティナ・メールニュース配信: <input type="radio"/> 希望する <input type="radio"/> 希望しない				
	TEL:				FAX:				
	携帯:				E-mail:				
	学 校	学校名:			学年:	TEL:			
④指導者 <small>※ 2 名まで登録可 ※ ID はご存知の方のみ ※住所・TEL は ID が未記入の場合のみ</small>	※指導者 ID:			※指導者 ID:					
	フリガナ:				フリガナ:				
	氏名:				氏名:				
	住所	TEL:			住所	TEL:			
⑤参加料 <small>※指導者 / 会員 ID はご存知の方のみ</small>	<input type="radio"/> 1: 一般	<input type="text" value=""/> 円			※指導者割引・会員割引の方のみ記入				
	<input type="radio"/> 2: 指導者割引				会員名・ID				
	<input type="radio"/> 3: 会員割引				本人との関係: <input type="radio"/> 本人 <input type="radio"/> 兄弟 <input type="radio"/> 親 <input type="radio"/> 祖父母 <input type="radio"/> 指導者				

## ⑥特級参加資格チェック項目 ※特級参加者は必ずチェックの上、記入すること

下記の資格にいずれか 1 つでも該当する  
※予備審査はなく、第一次予選からの受験となります。  
 ※第一次予選分の参加料金をお支払下さい。(料金は前頁参照)  
 予備審査料分はお支払の必要はございません。

音楽大学・音楽高校ピアノ科 (またはそれに準じる)  
 在学または卒業  
 在学・卒業学校名:  
 ( ) 大学・高校

ビティナ・ピアノコンペティションをはじめとする、  
 中学生以上を対象とする全国規模のコンクールで  
 第一次予選通過以上の経歴がある。  
 コンクール名・受賞内容:  
 ( )

※ビティナ・ピアノコンペティションソロ部門 D 級以上または、グラン  
 ミューズ部門 A1 カテゴリーの地区予選通過者を有資格者とみなし  
 ます。  
 ※ビティナ・ピアノコンペティション以外の社会人・愛好者を対象  
 とするコンクールについては、有資格者とみなされません。

左記いずれも該当しない  
※予備審査 (実音審査) を受験いただき、合格後、第一次予選の  
 受験となります。第一次予選の参加料は予備審査の合格後にお  
 支払いいただく形となります。  
 ※予備審査料 ¥2,000 のみお支払ください。

予備審査料: 2,000 円

### 予備審査演奏曲目記入欄

- 1) ハイドン、W.A. モーツァルト、ベートーヴェンのピアノソ  
 ナタから、1 つ以上の楽章 (繰り返しは任意)  
 作曲者:  
 曲名:
- 2) ショパンのエチュード作品 10 または作品 25 から任意の一曲  
 曲名:

※ (1) (2) いずれも、第一次予選・セミファイナルで演奏する楽曲との重複可  
 ※ (1) (2) の演奏曲順は任意

払込受領証の原本を貼付してください。

振込先: 00100-5-712078  
 加入者名: ピティナコンクール事業部

※郵便局指定の振込用紙にて、上記口座まで正しくお振込ください。  
 (銀行振込、現金書留、郵便為替などは不可。)

